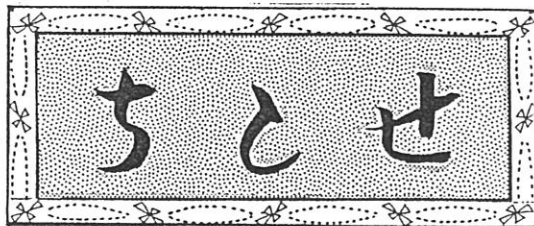


まちから子どもがいなくなる？

ついでの間まで、都心の問題とばかり思っていた事柄が、私達の身近かでも起こってきた。今、この地域の小学校児童・中学校生徒数が激減しています。船橋・希望丘千歳台の三小学校に、船橋・希望丘の二中学校、船橋小学校と船橋中学校を除くと何れもこの20年間に新設された学校です。昭和40年代の人口、特に児童生徒数の急増でプレハブ校舎がどの学校にもみられ、プレハブ校舎解消・学校増設運動が区内全域で盛り上がったものでした。

発行：編集委員会
編集者：板橋昇
責任者：船橋出張所内
☎(3482)0343
1992、3、NO39



千歳台小一学年4クラス編成で、24学級校。希望丘小も同規模の学校として、区内63番目の新設校となったのでした。それから20年、当初全く予想もしなかった急速な児童・生徒減がおこりました。まちの様子が大きく様変わりしたのでした。単一家族中心の大団地造成をはじめ、高地価・高家賃で子持の家族は、もうこの地域に住めないということでのファミリー層の大量転出が、環状8号線以東で顕著となっています。船橋5丁目17番にある西経堂団地は、かつて、小学生が百数十人いましたが、今年の4月は新入生6人、小学生は32人という状況です。様々な世代が同じまちにいないということができなくなってきたことは、地域社会の変質をもたらし、その地域の住民の生活基盤をもゆるがしはじめています。

新入生の移り変わり (区教委調べ)

学 校 名	昭和58年	昭和60年	昭和62年	平成元年	平成3年
船橋小学校	99人	113人	103人	114人	91人
希望丘小学校	136人	98人	89人	82人	50人
千歳台小学校	66人	62人	63人	60人	70人
千歳中学校	351人	312人	262人	225人	221人
船橋中学校	277人	293人	221人	203人	218人
希望丘中学校	204人	216人	196人	144人	115人

近隣中学校二校(船橋中学校・浜田校長、希望丘中学校・木山校長)にここ数年の生徒数の推移と教育上の変化をお聞きした。船橋中学校においては、生徒数は毎年減少してはいるが、来年度は思われているほど少なくない。一九〇名前後で5クラスになるのではないか。

校長先生に聞きました

希望丘中では、今の1年生が一一六名で3クラス、2年生が一三八名4クラス卒業する3年生一四五名で4クラスだったが、来年度は百名前後で、3クラスになるのではないかと。希望丘中の木山校長は、生徒数減少に伴うメリットデメリットについて、次のように話された。

生徒全体を掌握することができず、父母と学校がより身近になり、面対見のよい教育ができると思う。専科の先生などは、他学年も受け持つことになるので、生徒理解が徹底すると思っている。メリットは運動会などの学校行事の士気が上がらないのではないかと。

船橋中

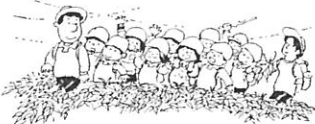
最多クラス数
1クラス50人で10クラス
あったのが現在では
1クラス40人で6クラス

(M、T)

学校だより

千歳台小学校 その1

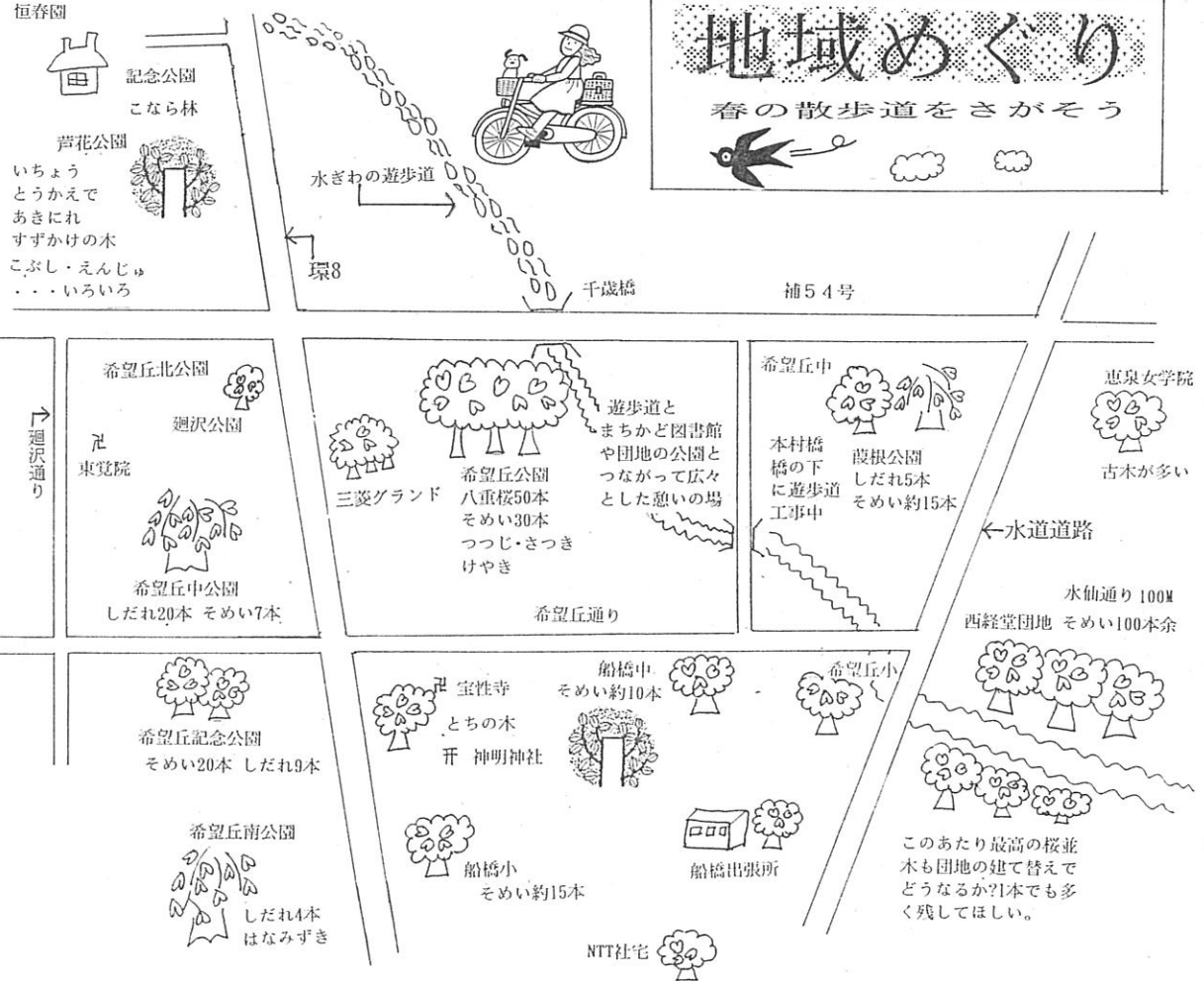
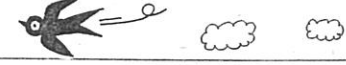
千歳台小は、世田谷区で一番新しい小学校です。明るい校舎、広い校庭、設備等、恵まれています。歴史の浅い小規模校であることや、人通りの少ない畑道を通わせることの不安は多少あります。しかし、小規模校なりの良いところを生かした活動も多くあります。たとえば、「全校遠足」6年と1年、5年と2年、4年と3年が手をつないで砧公園までの道のりを歩くのです。1年生は6年生に甘え、6年生はおぶってあげたり



と、よく面倒をみているようです。また、「縦割り清掃」があります。1グループは1年から6年で構成され、ひとつのところを清掃します。ほとんどが顔見知りになります。3学期には、学校・父母・地域の方の協力で「おもつき会」が行われます。昔ながらの方法で一人一人がおもつきを楽しくします。そのほか「朝練」「スキー教室」などの活動があり、一人一人が他ではできない貴重な体験をしているのが千歳台小学校です。(T、S)

地域めぐり

春の散歩道をさがそう



街づくりにかいられます

昨年4月地域行政制度がスタートし、総合支所に街づくり課ができました。現在世田谷区内では様々な街づくりが行われています。砧地域においても地区計画や区画整理事業などによる街づくりが進められています。

当課では、地域の皆様のご意見、ご要望を十分にお聞きし、潤いとやすらぎのあるより良い町並みを作りたいと考えております。また、皆様のお宅の建替相談、住宅の修築資金の融資斡旋なども行っておりますので、お気軽に総合支所（2階）街づくり課にお越しください。

街づくり課長 真野源吾

神明神社上棟祭

本紙37号で、町内の皆様に船橋神明神社の社殿建設の状況を報告し、今後のご協力をお願いいたしましたところ、財政面、工事面とも順調にすすみ、3月4日に上棟祭が行われました。皆さんのご協力を感謝いたします。本年の6月末日までには完成予定です。社殿の竣工後速やかに還座の儀式を行い、奉祝祭を盛大に行う予定です。今後の建設にご協力を祈念してご報告いたします。 吉崎義正

駐輪場ができました

4月1日から千歳船橋駅北側船橋1-13-2に区立の有料自転車等駐輪場が開設になります。月ぎめの申し込みは締め切りです。現在審査中です。日ぎめについては、4月1日より発売開始します。ただし、台数に限りがあります。

編集後記

2月17日に初うぐいすの声を聞きました。本紙も緑と街づくりの声をたくさん聞きたいと思えます。みなさんの声を！（N、I）

《さくら》本紙12号と28号でさくら情報を掲載しました。今回の調査で、本数は余り減っておらず、どの木もりっぱに成長していることが分かりました。上図の公園は、ほとんどが区画整理事業で造営された公園で、さくらも苗木が寄贈されたものです。どの公園にも、しだれざくらがあるのが特徴です。しだれざくらは30年もの大木になるそうです。

《遊歩道》千歳橋から芦花公園までの水際の遊歩道が完成しました。本村橋下の遊歩道が工事中で、本村橋と千歳橋の間が、団地の公園と一体となって、広々とした公園となりました。



《保存樹》緑を守るために、区では保存樹を指定しています。千歳台に11本、船橋に10本あります。農家等の庭に高くそびえています。《区の名木百選》宝性寺のスイリュウヒバ、野島智宅のカキノキ、神明神社のクロマツが、名木に選ばれています。